

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	鉛製給水管布設替え効率化事業費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～平成23年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之		
会計区分	一般会計		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第16条		関係する計画、通知等	「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部を改正する省令及び給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部改正について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	布設替えの重点化・効率化が可能となるよう、鉛製給水管の長さ・管径、老朽度等に基づき、給水栓水における鉛濃度に対して特に重大な影響を及ぼしている箇所を特定する方法等を手引きにとりまとめることによって、鉛製給水管問題の解消の促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(平成22年度)給水栓水中の鉛濃度に対する影響因子に関する調査 (平成23年度)鉛製給水管の効率的な布設替えに関する手引きの作成							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算		7	7			
		繰越し等						
		計		7	7			
	執行額		6	7				
	執行率(%)			85.7%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	手引きにとりまとめることによって、鉛製給水管問題の解消の促進を図るための経費であり、事業の性質から数値で定量的に成果目標を示すことができない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	報告書等対策効果定量的評価実施数		活動実績 (当初見込み)	件	— (—)	14 (14)	9 (9)	— (—)
単位当たりコスト	704,570 (円/件)		算出根拠	執行額/報告書等対策効果定量的評価実施数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費	—	—	事業終了のため				
計	—	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、鉛製給水管問題の解消の促進を図ることは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	鉛製給水管問題の解消の促進を図ることについては全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	評価実施件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位あたりコスト削減に今後も努めることとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	中間の業務実施過程において内容について仕様に見合った成果品とすべく、適宜協議しており、中間段階での支出は合理的である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	振替の依頼過程、成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに合ったものになっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。
点検結果	支出先・使途については、振替の依頼過程、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できており、内容についても仕様に見合った成果品とすべく、中間の業務実施過程において適宜協議している。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		—
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	863

厚生労働省 7百万円

給水栓水中の鉛濃度に対する影響因子に関する調査



【振替】

A. 国立保健医療科学院 7百万円

給水栓水中の鉛濃度に対する影響因子に関する調査の実施

【一般競争入札】

B. (株)東京設計 4百万円

鉛製給水管の効率的な布設替えに関する手引き作成業務
鉛製給水管布設替え実態の把握、既往報告書における対策の効果の定量的評価、現状の対策における課題の整理

【一般競争入札】

C.(財)千葉県薬剤師会検査センター 1百万円

給水用具からの鉛等浸出に関する再現性調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 国立保健医療科学院			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
食品等試験検査費	調査実施	2			
委託費	(株)東京設計	4			
委託費	(財)千葉県薬剤師会検査センター	1			
計		7	計		0
B. (株)東京設計			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費等	既往報告書等整理・分析	4			
計		4	計		0
C.(財)千葉県薬剤師会検査センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費等	調査・分析	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.国立保健医療科学院

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立保健医療科学院	給水栓水中の鉛濃度に対する影響因子に関する調査	7	振替	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.(株)東京設計

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京設計	鉛製給水管布設替え実態の把握、既往報告書における対策の効果の定量的評価、現状の対策における課題の整理	4	2	85%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.(財)千葉県薬剤師会検査センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)千葉県薬剤師会検査センター	給水用具からの鉛等浸出に関する再現性調査	1	2	49%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					